

## 地域発ITSへの取り組みとNPO法人の役割

か さい あき ふみ  
葛 西 章 史\*

### 1. はじめに

青森県は、県庁所在都市で全国唯一行政区域全域が特別豪雪地帯に指定されている青森市、お城と林檎と日本一の桜祭りで有名な弘前市、そして2002年12月の八戸開業を皮切りに、2010年の東北新幹線新青森駅開業を控えるなど、雪、観光、そして交通に関わる課題が多い。

特に交通に関しては、朝夕の交通渋滞、路線バスの利用者減に伴う運行の廃止、さらには雪国特有の道路除排雪の問題等、ITS技術の活用が期待される課題が多い。

青森ITSクラブは、ITS技術を活用してさまざまな課題を解決していくことを目的に、全国初のITS関連NPO法人として2003年3月青森市に発足した。

### 2. これまでの主な活動

青森ITSクラブのこれまでの活動は大きく5分野に分けられる。



写真 - 1 ITSあおもりフォーラム

行政機関への政策提言

携帯電話等の活用による道路交通情報提供

GPSを活用した位置情報サービスの提供

ITSフォーラムの開催

ITS技術活用研究

### 3. プロジェクトの特徴

当ITSクラブのプロジェクトの特徴は、「こんなことが出来ればもっと便利なのに、どうして行政や事業者ができないのか？」という「ありそうでなかった事業」を住民の視点に立って実現してきたことである。以下に主な事業を紹介する。

### 4. ケータイ版バス時刻検索サービス

ケータイ版バス時刻検索サービスは、青森市営バスの全バス停で掲示されている時刻表を携帯電話で検索できるものである。

青森市営バスもパソコンによる時刻表検索サービスは実施している。しかし多くのバス利用者はバスを利用する外出先で時刻表を確認するのであって、パソコンを持って外出する人は稀である。これをパソコンではなく、携帯電話で検索できるように、当ITSクラブが地域社会貢献の一環としてサービスを始めた。

2005年度の年間アクセス数は、380,132件と人気が高く、青森市営バスの事業を皮切りに、現在では、

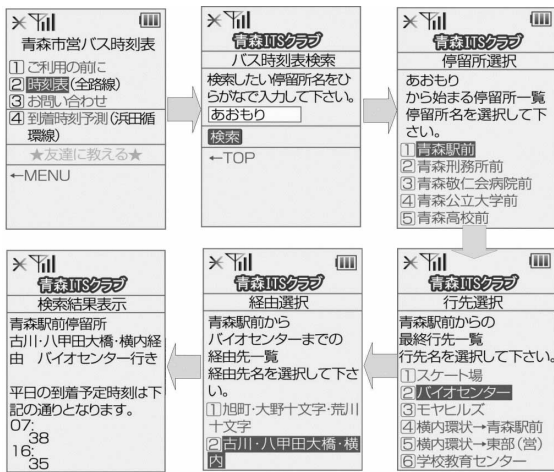


図 - 1 バス時刻検索サービス画面フロー

八戸市営バス、地元民間バスでも同様のサービスを開始している。

また、バス交通の利便性を向上させるITS技術の活用としてバスロケーションシステムの運用を推進している。特に、バスの定時性を確保することが困難な朝夕の渋滞時や冬期積雪寒冷時のバス利用者へのサービス向上策として、バスロケーションシステムは有効な施策であるが、経営環境の厳しさから、地方のバス事業者が自主的に事業化できないのが現状である。当ITSクラブでは、民間と行政の知恵を連携させることによって、バスロケーションシステムの導入を実現した。これもNPO法人ならではの事業である。

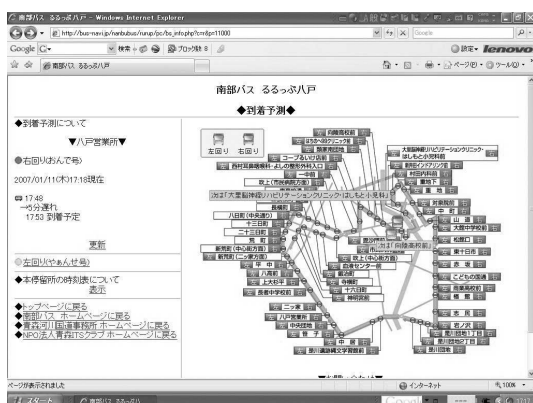


図 - 2 バスロケーションシステム画面

## 5. わがまちかど情報 青森

東北新幹線新青森駅開業を間近に控えた青森市では、開業までのこれからの期間を有効に活用し、新幹線開業効果を最大限享受できるまちづくりが求め

られている。特に2007年度の八戸 - 新青森間の予算は前年度より大幅に増加し、今後急ピッチに新幹線工事が進む見込みであり、地元の受け皿づくりが急務となっている。

このようななか、当ITSクラブでは観光客が青森へ到着してから欲しいと思われる旬な観光情報を、交通情報と共有させた「観光ITS事業」をいち早く開始した。「観光ITS事業:わがまちかど情報青森」は、交通情報を主体に置いたこれまでにない観光情報サイトで、個別に提供されてきた観光、交通、ショッピング等の情報を一元化し、インターネットを活用して、パソコンや携帯電話で情報を取得できるサービスである。

観光ITS：交通情報と観光情報を同時提供するサービスで、青森ITSクラブが作った造語



図 - 3 わがまちかど情報青森のコンテンツ

## 6. 除排雪車運行管理システム

青森市の雪は、累計降雪量が10m、最大積雪深が1mを超えるなど、市民生活に大きな影響を与え、雪の克服こそが市民生活の安全・安心を保つ重要な施策である。



写真 - 2 冬の国道4号線の交通渋滞

このため、青森市では、「青森市市民とともに進める雪処理に関する条例」を制定し、市民・行政・除排雪業者とのパートナーシップによる効率的な除排雪を行おうとしている。しかしながら、国道、県道、市道の各道路管理者の除排雪体制が異なることにより、除排雪作業の連携が取れているとは言い難く、除排雪作業の遅れによる朝夕の交通渋滞が度々発生している。

このような現実を克服するために、当ITSクラブでは、道路管理者に関わらない効率的な除排雪体制を構築するシステムとして、ITS技術を活用した除排雪車両の運行管理を提案している。

この除排雪車運行管理システムは、除排雪車両にGPS車載器を搭載することによって、除排雪作業をリアルタイムに確認することができることから、各道路管理者との連携が容易になり効率的な除排雪作業を支援するシステムである。

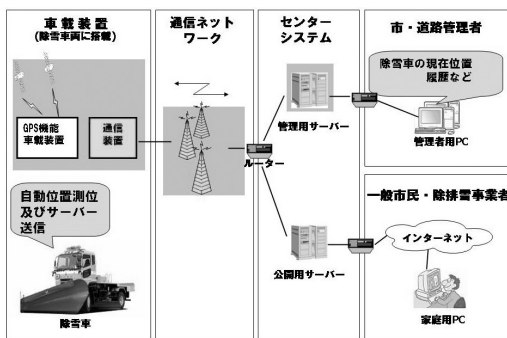


図-4 ネットワーク構成

2004年度の冬に、青森市と除排雪業者の協力を得て、除排雪車両への位置情報サービスの実験を行い、2005年度には青森市内の幹線道路18路線に導入され



図-5 除排雪状況公開画面

た。また、2006年度には青森市のホームページにて除排雪状況を公開し、市民へわかりやすく迅速に情報提供をしている。

## 7. NPO法人としての役割

行政や企業によって、様々なITSサービスが進められているが、まちづくり・地域づくりのためのツールとして認知度が高いとはいえ、地域や利用者である住民のニーズを必ずしも十分に反映したサービスにはなっていないものも見られる。また関係機関が多いため、実際に導入をする際の調整が非常に難しいという課題もある。ITSをより効果的に実現するためには、地域・住民の十分な理解の上で、関係機関の連携のもと、地域のニーズに応じたサービスを導入することが重要である。このようなことはITS推進に関することだけではなく、住民生活の多くの場面である。

NPO法人は、地域のさまざまな場面において積極的に関与し、住民と行政・企業のパートナーシップによって様々な課題を解決していくうえでのコーディネーター機能としての役割を持つと考える。公共サービス提供における行政の役割は最も重要であるが、行財政が年々厳しくなっている時こそ、行政の立場に立って、民間活力を活かすことが重要であり、NPO法人が大きな役割を果たす時であると考える。

## 8. おわりに

ITSをつくるのも人、ITSを使うのも人。人と人をつなぐITSを構築していくことが重要である。そして行政と企業とNPOがその本来的な役割において、それぞれが認識をもって関わりあった時に、これまで実現が不可能とされてきた事業が実現し、多くの人に役立つ公共サービスとなる。当ITSクラブではこのような高い志を持ちながら効率的で無駄のない公共サービスの提供者として、そして地方におけるITS技術の促進という場面で事業を展開し、今後も公共サービスの新しいセクターとしての役割を果たしていきたい。